

令和6年度 よりよい保育者養成を目指して ～常葉大学と園・施設との協議会～

グループトークキング	保育の時間・わたしの時間 ～日誌を通して考えたい、育てることと、記録すること～
<p>【概要】</p> <p>保育の場においても、保育者養成の場においても、記録は欠かせません。保育の記録は、子どもの記録でありながら、同時に自分自身の保育の軌跡そのものであり、そこには、子どもとのかけがえのない時間が圧縮されています。ところで、保育の記録に期待される情報量は、ICTの活用が容易となったこともあり、年々増大しています。しかしながら、保育の記録作成には時間がかかり、「大切であることは理解しているが、負担だ。」という声も耳にします。記録作成と時間的要素は本質的に切り離すことができず、それゆえに時間がかかり、貴重な業務時間を圧迫してしまいます。また、未来の保育者である保育学生も、実習の記録として「実習日誌」を書きますが、それを苦とする学生も少なからず存在し、養成校では日誌指導のあり方を模索する状況が常時継続していると言っても過言ではありません。</p> <p>そこで、今回は「記録は自分自身の何を育むのか。記録で学生の何を育てたいのか。」に着目して、本学保育学部と短大保育科の日誌指導について、日頃気になっていることを整理し、現職の先生方と膝を交えて話をしたいと考えました。</p> <p>当日は、①本学の日誌指導において大切にしていること、②フォーマットを含めた保育学部・短大保育科の共通点と相違点、③そもそも実習日誌は何のための記録なのか（養成校としては何を学んでほしいと思っているのか、学生は何を学んでいるのか）、について、本学の実習担当者が話題提供を致します。現職の先生方からは、①実習の際の日誌の指導で大切にしていること、②記録する際に学生に大事にしてほしい視点（どのようなことを記録しておくことと学生の学びにつながるのか）、③実習指導では日誌をどのように活用しているのか、について、情報共有いただければ幸いです。</p> <p>今回の試みによって、専門職としてのライフプランの中に、「保育の時間」と「わたしの時間」が心地よく共存するためのヒントを得ることができれば幸いです。</p>	
<p>【プログラム】</p> <p>会場にお集まりの皆さんは「対面」で、オンラインでご参加の皆さんは「オンライン」で、それぞれ実施します。</p>	
時間	内容
17:00～17:05	趣旨説明（対面：鈴木幸子、オンライン：赤塚めぐみ）
17:05～17:55	話題提供+自由討議 のスタイルで実施 ・共通の話題提供を聞いてから、グループに分かれてディスカッション。
17:55～18:00	クロージング（対面：鈴木幸子、オンライン：赤塚めぐみ）
<p>【担当者】</p> <p>（対面）</p> <p>常葉大学短期大学部保育科 准教授 鈴木幸子（進行） 常葉大学保育学部 講師 徳永聖子 常葉大学短期大学部保育科 講師 馬飼野陽美 ほか</p> <p>（オンライン）</p> <p>常葉大学保育学部 准教授 赤塚めぐみ（進行） 常葉大学短期大学部保育科 講師 森岡真樹 常葉大学短期大学部保育科 講師 木下 藍 ほか</p>	